

教科	商業	科目	プログラミング	単位数	3
学年	2年	類型	情報ビジネス科A類型		
教科書(出版社)	最新プログラミング(実教出版)				
副教材(出版社)	情報処理検定模擬試験問題集(プログラミング1級)				
授業の概要	Java言語におけるプログラミングの学習を中心に行う。その中でコンピュータでのデータ処理やビジネスの活動に必要な能力・態度を見に付ける。				
授業の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 コンピュータを使ったデータ処理の仕組みについて習得する。 2 プログラミングに関する知識と技術を習得する。 3 体験的学習を通して創造力や論理的な思考力を育成する。 4 ビジネスの諸活動において、情報を合理的に処理しコンピュータを効果的に活用する能力と態度を身に付ける。 				
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学 期	1章 コンピュータとプログラミング	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジネスの諸活動と情報処理システムの関わりについて関心を持ち、データ処理の仕組みや役割の重要性を理解する。Java言語の特徴やプログラミング手順を把握する。 ・ javaプログラムの基礎的・基本的な技法を身に付けるとともに、ビジネスの諸活動におけるプログラミングの意義について理解を深める。 ・ プログラミングに必要なハードウェアの操作技術を身に付ける。 ・ プログラムを作成する意義を理解し、各種の応用的なプログラミング技法を身に付ける。 		
		2章 プログラミングの手順			
		3章 プログラミングの基礎			
		4章 報告書の作成			
	2 学 期	5章 テーブルの利用	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーブルの意義を理解する。 ・ テーブルを利用した各種のプログラミング技法を身に付けるとともに、テーブルの有用性について考察を深める。基本的なファイルの種類を理解するとともに、データチェックの重要性について考察を深める。 ・ ファイル処理の各種技法を身に付けるとともに、発生したデータがファイルに集められ処理されていく過程について理解する。 		
6章 ファイル処理					
3 学 期	7章 イベント駆動型プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 視覚効果に富み販売促進等に有効な、ビジュアルで新しいプログラムについて理解する。 ・ コンピュータの利用にあたって必要な、ハードウェアとソフトウェアに関する知識を身に付ける。 ・ 高度情報化社会を生き抜くために必要な情報活用能力の重要性を理解するとともに、情報社会に参画する上での望ましい態度について考察を深める。 			
	8章 ハードウェア・ソフトウェア				
観点別 評価	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
	コンピュータを使った情報処理の仕組みとプログラミングに関心をもち、ビジネスの諸活動によって生じた情報を合理的に処理しコンピュータを効果的に活用することができるか。	ビジネスの諸活動によって生じた情報を的確に把握し、プログラミングに関する基礎的・基本的な知識と技術を活用して、効率的なプログラムを作成するために、様々な角度から考察できるか。	プログラミングに関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、基礎的なプログラムを作成することができることともに、応用的な技術をさらにすすんで活用しようとするか。	コンピュータを使った情報処理の仕組みとプログラミングに関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、ビジネスの諸活動に関する情報を合理的に処理し、活用する方法を理解できるか。	
備考	4つの観点に基づき、各学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。				